

「介護と医療の連携を深めるための基礎知識講習会」アンケート

○ 所属施設（通常の業務をされている施設）

【 居宅介護支援事業所 ・ ショートステイ ・ 特別養護老人施設 ・ 有料老人ホーム ・ 訪問介護事業所 ・ その他 】

○ 職種

【 ケアマネジャー ・ ヘルパー(2 級 / 1 級) ・ 介護福祉士 ・ 社会福祉士 ・ 看護師 ・ その他() 】

○ 経験年数（福祉職の方のみ記入）

- ・ 福祉職としての経験年数 約 () 年
- ・ 認知症介護の経験年数 約 () 年
- ・ 認知症加算（ケアマネジャーの方のみ記入） 月平均 () 件
- ・ 過去 3 年間での看取りの介護（亡くなる 1 ヶ月以内の介護）に携わった件数（突然死を除く）
. . . . 約 () 件

【 講習会の各テーマについて 】

① 「生活と医療の関係」 （当てはまるものを 1 つ選び○をつけてください）

（ 1. 参考にならなかった 2. どちらともいえない 3. 少し参考になった 4. 大変参考になった ）

・ この講義に関するご感想やご意見、ご質問

[]

② 「体調の変化に際しての報告相談のしかた」 （当てはまるものを 1 つ選び○をつけてください）

（ 1. 参考にならなかった 2. どちらともいえない 3. 少し参考になった 4. 大変参考になった ）

・ この講義に関するご感想やご意見、ご質問

[]

③ 「認知症のステージアプローチについて」 （当てはまるものを 1 つ選び○をつけてください）

（ 1. 参考にならなかった 2. どちらともいえない 3. 少し参考になった 4. 大変参考になった ）

・ この講義に関するご感想やご意見、ご質問

[]

⇒ 裏面もあります。

3) 今後このような講習会を開催するとしたら、どのようなテーマがあなたの職場の同僚やスタッフにとって役立つと思いますか。下記の8つの中から優先の高い順に【 】に、1、2・・・8を記入してください。

【 】 生活と医療の関係

食事・排泄・睡眠など基本的な生活要素と医療の関係、正常と異常の見極め

【 】 体調の変化に際しての報告相談のしかた

利用者の体調変化に直面した時、介護職が何を観察しどのように報告すればよいのか

【 】 認知症のステージアプローチ

長い経過をたどる疾患である認知症について、進行の各段階に応じた支援と介護職の役割

【 】 認知症のBPSDと介護職が果たす役割

認知症高齢者が呈するBPSDについての概説と介護職にできる実践的な対応方法

【 】 施設における意思決定の支援と家族との関わり

自己決定が困難な認知症高齢者とその家族の意思決定をどのように支援するか

【 】 施設でできる医療と介護職が関わる医療的な行為

医療職が配置されていない施設で実施可能な医療と介護職が関わる医療的な行為の実際

【 】 介護職間の情報共有と介護職・医療職間の連携

変化する利用者の状態を交代で勤務する介護職間や施設外の医療者とどのように連携するか

【 】 老い、衰え、そして看取りのプロセスとケア

老衰を中心に、人が老い、衰え、そして看取りに至るまでの経過と介護職が果たす役割

その他

4) 日常の仕事・業務の中で、特に困難を感じることはどのようなことですか？

5) 介護側・介護の現場から、医療者に伝えたいことや知ってほしいこと、この点を理解してほしいと思うこと

【 講習会全体について 】

(1. 参考にならなかった 2. どちらともいえない 3. 少し参考になった 4. 大変参考になった)

(1. 不満 2. どちらかといったら不満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといったら満足 5. 満足)

○ ご感想やご意見